

上半期は実質ベースで 20.1% となる幅広い成長、第 2 四半期利益率は 150 bps と連続拡大
合計契約金額 27 億ドルは過去 7 四半期で最高、四半期毎の離職率は 3 四半期連続で減少
930 億ルピー (11.3 億ドル) の自社株買いと 694 億ルピー (8.5 億ドル) の中間配当を発表

バンガロール (インド) – 2022 年 10 月 13 日: 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーである インフォシス (NSE、BSE、NYSE: INFY) は、第 2 四半期において実質ベースで前年比 18.8% 増、連続成長 4.0% となる力強い業績を報告しました。前年比成長率はすべての事業セグメントにおいて実質ベースで 2 桁となりました。収益全体のうちデジタル関連が 61.8% を占め、実質ベースで 31.2% の成長を記録しています。第 2 四半期の営業利益率は連続して 150 bps 増加し、21.5% に達しました。第 2 四半期の大規模案件の合計契約金額は 27 億ドルと、過去 7 四半期で最も高い数字を記録し堅調でした。2023 年度の収益成長率予測範囲は 15%~16% へと上方修正され、また営業利益予想範囲も 21%~22% へと修正されました。

「第 2 四半期における当社の力強い大型契約の獲得と安定した全面的な成長は、顧客がビジネスの変革を進める中で、当社のデジタルおよびクラウドソリューションが顧客にとって深い関連性と差別化となっていることに反映されています」と最高経営責任者兼取締役の **Salil Parekh** は述べ、さらに「経済の見通しに関する懸念が晴れない中、当社の需要パイプラインは強力です。これは顧客が追求する価値を提供するための当社の能力について、ビジネスの成長と効率化の両側面で、引き続き顧客が信頼していることが理由です」と述べました。この内容を反映して、当社の 2023 年度の収益成長率予測範囲は 15%~16% へと修正されました。

<p>前年同期比 31.2% 実質ベースの デジタル成長率</p>	<p>前年同期比 18.8% 前四半期比 4.0% 実質ベースの 収益成長率</p>	<p>21.5% 営業利益率 (ドル建て)</p>	<p>前年同期比 11.5% EPS の増加 (ルピー建て)</p>	<p>27 億ドル 大規模案件 合計契約金額</p>
---	--	--	--	---

1. 主な注目点:

2023 年度第 2 四半期

- 実質ベースの売上高は前年同期比 18.8% 増、前四半期比 4.0% 増
- 報告売上高は 45 億 5500 万ドル、前年比 13.9% 増
- デジタル売上高は総売上高の 61.8%、前年比成長率は実質ベースで 31.2%
- 営業利益率は 21.5%、前年同期比 2.1% 減、前四半期比 1.5% 増
- 基本 EPS は 0.18 ドル、前年同期比 2.5% 増
- フリーキャッシュフローは 5.89 億ドル、前年比 17.3% 減
フリーキャッシュフロー・コンバージョンは純利益の 78.6%

2023 年度上半期

- 実質ベースの売上高は前年比 20.1% 増
- 報告売上高は 89 億 9900 万ドル、前年比 15.7% 増
- デジタル売上高は総売上高の 61.4%、前年比成長率は実質ベースで 34.5%
- 営業利益率は 20.7%、前年比 2.9% 減
- 基本 EPS は 0.34 ドル、前年同期比 0.8 % 増
- フリーキャッシュフローは 12.45 億ドル、前年比 21.0% 減、フリーキャッシュフロー・コンバージョンは純利益の 86.6%

プレス・リリース

「第 2 四半期の営業利益率は連続して 150 bps 増大し、これは当社の営業面での尽力によるものです。供給サイドの課題が徐々に弱まり、減少率の低下を反映している一方で、こうした課題は引き続き当社のコスト構造へのプレッシャーとなっています。」と**最高財務責任者**の Nilanjan Roy は述べ、さらに「資本配分方針に沿って、取締役会は 2022 年度の間配当を 10% 上回る 1 株当たり 16.50 ルピーの間配当と、公開市場での自社株買い 930 億ルピーを発表しました」と述べています。

2. 資本配分

本日開催された取締役会において、以下の内容が承認されました。

- 次回株主総会での株主の承認を条件とする、インド証券取引所を通じた公開市場での 1 株あたり 1850 ルピーを超えない価格 (最大買戻し価格) での 930 億ルピー (最大買戻し規模、買戻し税を除く) (約 11.3 億ドル*) の普通株の自社株買い。
- 2022 年度の間配当 15 ルピーに対し、1 株あたり 16.50 ルピーの間配当 (1ADS あたり約 0.20 ドル)。中間配当総額は約 694 億ルピー (約 8.5 億ドル*)。

*為替レート 1 米ドル=82.00 インドルピー

3. 顧客の獲得と証言

- Currys plc は同社の主要な英国および欧州市場でのビジネス利益の成長に寄与するため、インフォシスとのテクノロジーおよび業務プロセスサービスにおける戦略的協働契約を締結しました。「当社が継続している変革の一環として、インフォシスは次世代のグループビジネスサービス能力をデザインし提供する手助けをしてくれます。今回の協業は、英国、欧州、インドでの世界クラスのデジタル運用に対するアクセスを与え、当社の従業員とお客様はクラス最高のテクノロジー、システム、プロセス、そして当社の中核事業に関する競争優位性の新しい源のメリットを享受できます。」と **Currys plc のグループ CFO である Bruce Marsh 氏**は述べています。
- インフォシスのサイバー・ネクスト・プラットフォームおよび Palo Alto ネットワークは、クラウド変革ジャーニーの一環として、Bpost のセキュリティへの姿勢を強化しました。**Bpost の CISO である Rony Monnaie 氏**は次のように述べています。「当社がクラウド変革ジャーニーに乗り出す一方で、インフォシスはいくつかの良く考慮されたサイバーセキュリティの取り組みを推進し、当社の環境を保護して、Bpost の全社的なセキュリティの姿勢を改善しました。現在では当社の従業員とお客様の両方が新たに手に入れたセキュアな基盤のメリットを享受し、郵便と小包の両方の追跡と配送を行っています。」
- スピリット・アエロシステムズは、インフォシスの次世代テクノロジーを活用した、エアロストラクチャー事業とシステムエンジニアリングサービスでの共同創造に向け、インフォシスと 5 年間の協業契約を締結しました。「スピリット・アエロシステムズでは、設計とエンジニアリングのレベルで自社のサービスの継続的向上を図る能力を備えていることが、競争における差別化要因であると考えています。当社の長年にわたるインフォシスとの協働は、両社が製品開発の重要なステージで共同でイノベーションを起こせる関係性であり、私たちがこれからも品質と耐空性における最高水準を追求し続けることを意味しています。今回の戦略的契約は、両社の強力な関係性を一層強化し、相互のシナジーを活用して、当社の民間およびアフターマーケット事業セグメントの全域で、世界クラスのエアロストラクチャーとサービスの開発を高速化するものです」と、**スピリット・アエロシステムズのエンジニアリングおよびテクノロジー担当上級副社長兼チーフエンジニアである Sean Black 博士**は述べています。
- インフォシスは Telenor Norway と協業し、IT モダナイゼーションを高速化し、共同マネージドモデルを通じて Telenor を製品ベースの組織として確立しました。この協業に関するコメントとして、**Telenor Norway の CEO である Birgitte Engebretsen 氏**は次のように述べています。「現代において、Telenor Norway のような組織にとって、他よりも一歩先を行くことでお客様が優れたサービスの提供を確実にうけられるようにする

プレス・リリース

ことは至上命題なのです。これを実現するためには、当社が未来に備えていなければなりません。「接続を超える」という当社の戦略に忠実であるために、インフォシスとの強力な協業を組み合わせることでこのモダナイゼーション・ジャーニーに乗り出し、お客様により優れたサービスを提供する力を得ることを楽しみにしています。」

- 「インフォシスは 5 年間以上もの間、私たちのテクノロジーパートナーでした。インフォシスはテクノロジーランドスケープの変革だけでなく、私たちが学生や職員と関わり合う方法についても変革を支援してくれました。新しいデジタルソリューションの開発と新しいデータプラットフォームの構築を手助けしてくれ、私たちは意思決定をより優れたものにする真の価値やインサイトを獲得できます」と、**Open University の情報テクノロジー担当ディレクターである Judi Turnbull 氏**は述べています。

4. 表彰

- インフォシスが Asia's Outstanding Companies Poll 2022 で「Most Outstanding Company in India – IT Services Sector」を受賞。Asiamoney は、財務実績、卓越した経営チーム、インベスターリレーションズ活動、CSR への取り組みなどの領域で抜きん出た上場企業を表彰するために、この調査を設計しました。
- Great Place to Work® により India's Best Workplaces™ for Women 2022 に認定
- Great Place to Work® により UK's Best Workplaces™ in Tech 2022 に認定
- Great Place to Work® により Mexico's Best HR leaders of 2022 に認定
- 米国での ISG Provider Lens Study で Power & Utilities Industry - Services and Solutions 2022 のリーダーとしての評価
- HFS Top 10: Sustainability Services, 2022 でリーダーとしての評価
- HFS Top 10: Capital Markets Services, 2022 でリーダーとしての評価
- NelsonHall の End-to-End Cloud Infrastructure Management Services 2022 でリーダーとしての評価
- IDC MarketScape: Asia/Pacific SAP Implementation Services Vendor Assessment, 2022 でリーダーとしての評価
- IDC によるベンダー評価 EMEA Service Providers for Energy Transition and New Business Models for Oil and Gas Companies 2022 でリーダーとしての評価
- NelsonHall の Supply Chain Transformation 2022 でリーダーとしての評価
- NelsonHall の Mortgage & Loan Services 2022 でリーダーとしての評価
- Everest の Data and Analytics (D&A) Services PEAK Matrix® Assessment 2022 でリーダーとしての評価
- Everest の System Integration (SI) Capabilities on Amazon Web Services (AWS) PEAK Matrix® Assessment 2022 でリーダーとしての評価
- Everest の ServiceNow Services PEAK Matrix® Assessment 2022 でリーダーとしての評価
- Everest の System Integration (SI) Capabilities on Microsoft Azure PEAK Matrix® Assessment 2022 でリーダーとしての評価
- Avasant の Digital Master's 2022 RadarView™ でリーダーとしての評価

プレス・リリース

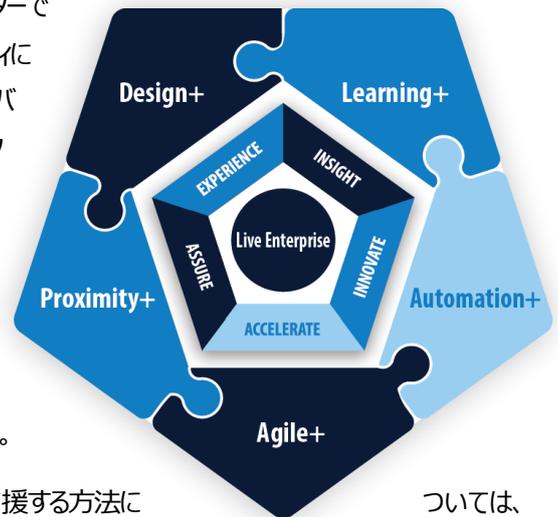
- Avasant の Freight and Logistics Digital Services 2022-23 RadarView™ でリーダーとしての評価
- Avasant の Life Sciences Digital services 2022-23 RadarView™ でリーダーとしての評価
- Constellation ShortList™ Blockchain Technology Services でリーダーとしての評価
- Constellation ShortList™ Campaign to Commerce: Best-of-Breed Commerce Platforms でリーダーとしての評価
- Constellation ShortList™ Digital Transformation Services (DTX): Global でリーダーとしての評価
- Constellation ShortList™ Public Cloud Transformation Services: Global でリーダーとしての評価
- Constellation ShortList™ AI-Driven Cognitive Applications でリーダーとしての評価
- Constellation ShortList™ Customer Experience (CX) Operations Services: Global でリーダーとしての評価
- Constellation ShortList™ Metaverse Design and Services でリーダーとしての評価
- Everest Group の Financial Crime & Compliance Operations – Services PEAK Matrix® Assessment 2022 で Infosys BPM がリーダーに選出
- Nelson Hall NEAT: Supply Chain Transformation 2022 で Infosys BPM がリーダーに選出

インフォシスについて

* インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーです。約30万人の従業員が、人間の可能性を増大し、人、企業、コミュニティにとって次の機会を創出するために働いています。40年以上にわたってグローバル企業のシステムや仕組みを管理してきた実績に基づき、クラウドによるデジタル変革の推進に向けて50か国以上の顧客を支援しています。当社では企業がAIを導入したコアを利用できるようにしています。また、ビジネスにアジャイル手法とデジタル化を大規模に導入することで、かつてない高いレベルのパフォーマンスと顧客満足度を提供いたします。当社の常に学ぶ姿勢は、デジタル・スキル、専門知識、および当社のイノベーション・エコシステムから創出されるアイデアの確立と移転を通じて、お客様の継続的改善を実現しています。

インフォシス (NSE, BSE, NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法に www.infosys.com をご覧ください。

DIGITAL NAVIGATION FRAMEWORK



については、

セーフハーバー条項

本リリースの記述は、1933年連邦証券法（「証券法」）の27A条項および1934年証券取引法（「証券取引法」）の21E条項に規定される「将来予想に関する記述」が含まれています。見通しに関する記述は、一般的に将来の事象、または当社の将来の財務的もしくは営業的業績に関連するものであり、当社、当社の業界、当社が事業展開している市場の経済状況、およびその他の事項に関する当社の現在の予想、仮定、見通しおよび予測に基づいています。一般に、これらの将来に関する記述は、「may」、「anticipate」、「view」、「expect」、「expect」、「expect」、「continue」、「intention」、「will」、「project」、「seek」、「can」、「will」、「should」などの将来に関する用語を使用することによって識別することができます。これらの記述には、当社の事業戦略に関する声明、市場地位、将来の事業運営、成長、利益率、収益性、減損、流動性、資本資源に関する当社の期待、当社のESGビジョン、当社の資本配分方針、COVID-19の世界経済および当社の事業・事業への影響、賃上げ、米国における出入国管理および政策を含む規制の変更、当社の株式買い戻し提案の適時完了を含む企業行動などが含まれます。これらの記述は、既知、未知のリスク、不確実性、その他の要因にさらされており、実際の結果や結果は、将来の見通しに記載されているものとは大きく異なる可能性があります。当社の将来の業績に影響を及ぼす可能性のあるその他のリスクについては、2022年3月期の年次報告書様式20-Fを含め、米国証券取引委員会に記載されています。これらの報告書は、www.sec.govでご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、当社が随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問合せ先

インフォシスリミテッド 日本支店

マーケティング本部 本部長 安藤 mail: jo_ando@infosys.com

連絡先

投資関連	Sandeep Mahindroo +91 80 3980 1018 Sandeep_Mahindroo@infosys.com	
メディア関連	Rishi Basu +91 80 4156 3998 Rajarshi.Basu@infosys.com	Harini Babu +1 46999 63516 Harini_Babu@infosys.com

インフォシス リミテッドと子会社

IFRS に基づく連結連結貸借対照表要約 (抜粋)

(100 万ドル)

	2022 年 9 月 30 日	2022 年 3 月 31 日
資産		
流動資産		
現金および現金等価	1,828	2,305
短期投資	1,448	880
売掛金	3,122	2,995
未請求収益	1,635	1,526
その他の流動資産	1,178	1,159
流動資産合計	9,211	8,865
非流動資産		
有形固定資産および使用権資産	2,339	2,429
のれんおよびその他無形資産	1,072	1,042
非短期投資	1,557	1,801
未請求収益	174	124
その他非流動資産	1,287	1,294
非流動資産合計	6,429	6,690
資産合計	15,640	15,555
負債および資本		
流動負債		
買掛金	512	545
前受収益	855	834
従業員給付債務	276	288
その他流動負債	2,946	2,766
流動負債合計	4,589	4,433
非流動負債		
リース負債	685	607
その他非流動負債	489	521
非流動負債合計	1,174	1,128
負債合計	5,763	5,561
親会社の所有者に帰属する持分合計	9,828	9,941
非支配持分	49	53
資本合計	9,877	9,994
負債および資本の合計	15,640	15,555

IFRS に基づく連結包括損益計算書要約（抜粋）：

（100 万ドル、株式データおよび 1 株当たり純資産データを除く）

	2022 年度 第 2 四半期	2021 年度 第 2 四半期	2022 年度 上半期	2021 年度 上半期
売上収益	4,555	3,998	8,999	7,780
売上原価	3,170	2,675	6,315	5,184
売上総利益	1,385	1,323	2,684	2,596
営業費用:				
販売費	185	167	378	336
管理費	221	215	439	423
営業費用合計	406	382	817	759
営業利益	979	941	1,867	1,837
その他の収益(純額) ⁽³⁾	65	65	145	142
税引前利益	1,044	1,006	2,012	1,979
法人所得税費用	295	272	574	540
純利益 (少数株主利益調整前)	749	734	1,438	1,439
純利益 (少数株主利益調整後)	748	733	1,437	1,437
基本 EPS (\$)	0.18	0.17	0.34	0.34
希薄化後 EPS (\$)	0.18	0.17	0.34	0.34

注:

1. 上記の情報は、2022年10月13日開催の取締役会で記録された2022年度第2四半期および2022年度上半期の要約された監査済み連結貸借対照表および包括損益計算書から抜粋したものです。
2. 当社の業績に関する概況報告書はwww.infosys.comからダウンロードできます。
3. その他収益には財務費用を含みます。
4. 四半期末および上半期の数値は、出典元から抽出され、最も近い桁に四捨五入されているため、本報告書の四半期の数値を前四半期の数値に足し合わせても、必ずしも本報告書で報告されている上半期の数値とは一致しない可能性があります。